CRL和英翻訳パートナー　トライアル受験要領

生命科学 <https://www.crl.cloud/partners/doc/trial_cellbioloy.docx>

作業仕様

1. トライアル回答は別ファイルに保存して提出してください。
2. トライアル回答には英語のみ記載してください（和英対訳形式ではありません）。
3. 使用フォントはTimes New Roman、サイズは12 pointでお願いします。
4. 訳出根拠の提示はコメントにて（本文への追記は厳禁）ソース情報を提示してください。

 ※トライアル回答・コメントに記載するテキストは、全て英語のみとします。

課題文（生命科学）

　体の内と外を隔てる上皮細胞、神経伝達を担うニューロンなどでは細胞内の諸装置や分子群が実に秩序正しく空間的に配置されています。これを細胞が極性を持っているといいます。上皮細胞やニューロンの極性は、その上皮組織や神経系の機能発揮の基盤となっています。

　球状のリンパ球や一見無秩序な形を示す繊維芽細胞なども、移動の際や活性化して実際に働く場合には、細胞の形が大きく変化し、細胞内成分や細胞膜成分の再配置を伴う大きな変化を伴います。その過程で、細胞の諸装置や分子群が秩序だった空間配置をとります。つまり、極性を示すようになるのです。ここでも細胞の極性は細胞機能発揮の基盤となっています。

　細胞極性は、多細胞生物の身体を構成する細胞の日常活動の基盤であるということができます。したがって、その異常は多細胞生物の様々な機能に大きな影響を与えることが容易に推察できます。

　しかし、どのようにして細胞の極性が生ずるのか。また、細胞極性が多細胞生物の発生や組織形成・再生やがん化などの細胞の病気に具体的にどのように関わっているのかと言う問題は、現代の医学生物学が明らかにすべき根本的な問題の一つとして残されています。